

2017年6月4日(日)朝10:10

主の聖霊降臨節第1、オリーブ会等

6月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：第7のラツパ;葡萄の刈り集め

聖書:ヨハネの黙示録 14章17～20節

<口語訳>

新約聖書400頁

ヨハネの黙示録 14章17～20節

<新共同訳>

新約聖書469頁

ヨハネの黙示録 14章17～20節

<新改訳第3版>

新約聖書492頁

ヨハネの黙示録14章17～20節

<塚本訳>

新約聖書807～808頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」とありますように、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通して(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録されたものと理解されています。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰と神の御子の愛、2章～3章は、7つの教会への手紙、4～5章は、仔羊(羔羊)礼拝と大讚美、6～9章は、聖徒の戦い、10章は、神の恵みの啓示と審判、11章は、主の王即位と24人の長老の神礼拝、12章は、女性及び天使と龍(悪魔・サタン)との戦い、13章は、龍(悪魔・サタン)礼拝要求の第一、第二の獣との戦い、14章1～5節は、天での小羊への大讚美、6～7節は、神の福音と地上の諸国への裁き、8節は、バビロン倒壊、9～12節は、神無視の人々への裁きと信仰者への忍耐、14章13節は、殉教者の幸福の天の声と内住の御霊の声、14～16節は、再臨の御子の穀物刈り取り、天の穀倉への格納の啓示です。

◇ヨハネの黙示録14章17～20節は、第5、第6の天使による神の怒りの葡萄刈り集めと酒槽への投入の裁き告知の幻の啓示です。

本論；

◇本日、ヨハネ黙示録第17章17～20節から主の使信に思い・心をとめます。

◆黙示録14章17節；ヨハネは、第5の天使が葡萄刈りの鎌を持って、地上へ派遣された幻を見ました。

◇17～20節；塚本訳◆天使葡萄を刈り集む  
{第七の異象}

「15 またもう一人(他の、第五)の天使が天にある(神の)聖所から出て来た。彼もまた(その手に)利き鎌を持っていた。」と、ヨハネは、第5の天使の葡萄刈り集めの幻を見ました。

◇17節；ヨハネは、天の聖所から派遣された天使が「(その手に)利き鎌を持っている」のを見ました。

⇒「(その手に)利き鎌を持つ」姿は、先の人の子の姿に似ていますが、その目的は全く違い、神の怒りを実行するための派遣でした。

◆ 黙示録14章18～20節 ;ヨハネは、第6の天使が、鎌を持つ第5の天使へ①葡萄刈りと②酒槽へ投げ入れを命じる幻を見ました。

◇ 17～20節 ;塚本訳◆ 天使葡萄を刈り集む {第七の異象}

「18 すると火の支配権を有つもう一人(他の、第六)の天使が祭壇から出て来て、利き鎌を持つ天使に大声で叫んで言うた、「汝の利き鎌を入れて、地の葡萄樹の房を刈り集めよ。葡萄は(もうすっかり)熟し切ったのだから。」

19 そこで天使はその鎌を地に投げ入れて地の葡萄樹を刈り集め、(それを)神の憤怒の大きな酒槽(さかぶね)に投げ込んだ。

20 酒槽は町の外で踏まれた。そして血が酒槽から(流れ)出て、(深さ)馬の轡に達し、(広さ)千六百町歩に及んだ。」と、ヨハネは、第5の天使の葡萄刈り集めと第6の天使の命令の幻を見ました。

◇ 18節 ;ヨハネは、光の支配権を与えられた第6の天使が(その手に)利き鎌を持つ第5の天使に葡萄刈りを命じるのを見ました。

⇒「**光の支配権**」は、**第5の天使への命令**に見られますように、「**神の権威**」を示す徴です。

⇒**神**は、「**光の支配権**」を行使して、天地万物を創造し、人間をも創造して下さいましたが、今、同じ全能者の力をもって、本来**神にささげるべき「葡萄の果実」と「葡萄樹」**に**神の怒りの鎌**を入れて刈り集めようとされます。

⇒「**天にある144000人の殉教者の訴え・復讐の願い**」を実行しておられる**幻**です。

◇**19節**；ヨハネは、「**葡萄の房・果実**」を刈った後の「**葡萄樹**」を集めて、**神の怒りの「酒槽」**へ投げ込めと、**第6の天使**は、**第5の天使**に命令します。

⇒「**神の憤怒の大きな酒槽(さかぶね)**」に、言語では、塚本訳のように、「**地の葡萄樹**」が、投げ込まれるのです。「**葡萄の房・果実**」ではないのです。恐らく、**18節**で既に刈り集めた「**葡萄の房・果実**」も、「**神の憤怒の大きな酒槽(さかぶね)**」に投げ込まれたのでしょう。

⇒「**地の葡萄樹**」よって、人間中心・地上の支配者**龍(悪魔・サタン)**中心を表現しています。

◇**20節**；ヨハネは、「**酒槽は町の外で踏まれた**」。

そして血が 酒槽から(流れ)出て、(深さ)馬の轡に達し、(広さ)千六百町歩に及んだ」光景の幻を見ました。

⇒「**酒槽は町の外で踏まれた**」とは、明らかに、エルサレムの郊外、ゴルゴタの丘で十字架につけられた**神の御子の姿**を思い起こさせています。

⇒「**血が 酒槽から(流れ)出て、(深さ)馬の轡に達し、(広さ)千六百町歩に及んだ**」と、「**酒槽**」の本来の目的は、「**葡萄酒**」を醸造するためですが、絞り出された「**葡萄汁**」は、「**血**」となって、流れ出ているというのです。

⇒しかも、その広さは、1600スタディオンと言います、KK師が解説される通り、「 $4 \times 4 \times 10 \times 10$ 」=1600で、「**神の審判の範囲全体**」を表現しており、**神の復讐**は完璧に行われ、**殉教者の祈り**は聴かれたのです。

⇒今も、終末であることに変わりはありませんが、**ヨハネ黙示録14章17～20節の幻**は、まだ実行されていません。

⇒**神**は、「**神信仰と忍耐**」を私たちにご期待です。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇ヨハネの黙示録は、1章1節、「イエス・キリストの黙示」で、神の御子イエス・キリスト様が、天使を通し(1)、長老・使徒ヨハネに与えた「神の国到来の奥義」の黙示で、ローマ皇帝ドミティアヌス(81～96)時代に記録と理解。
- ◇ヨハネ黙示録1章は、神の御子の再臨信仰と神の御子の愛、2章～3章は、7つの教会への手紙、4～5章は、仔羊(羔羊)礼拝と大讚美、6～9章は、聖徒の戦い、10章は、神の恵みの啓示と審判、11章は、主の王即位と24人の長老の神礼拝、12章は、女性及び天使と龍(悪魔・サタン)との戦い、13章は、龍(悪魔・サタン)礼拝要求の第一、第二の獣との戦い、14章1～5節は、天での小羊への大讚美、6～7節は、神の福音と地上の諸国への裁き、8節は、バビロン倒壊、9～12節は、神無視の人々への裁きと信仰者への忍耐、14章13節は、殉教者の幸福の天の声と内住の御霊の声、14～16節は、再臨の御子の穀物刈り取り、天の穀倉への格納の啓示です。

- ◇ヨハネの黙示録14章17～20節は、第5、第6の天使による神の怒りの葡萄刈り集めと酒槽への投入の裁き告知の幻の啓示です。
- ⇒「**神の栄光の御座**」での「**24人の長老**」と「**4つの生き物**」の**神礼拝・神讚美**は、「**主キリスト・イエス様が天のみならず、地の上・この世でも、王となり給うたことを感謝**」する結末を与えられています。
- ⇒地上に今生かされています私たちも、「**神礼拝・神讚美**」は、この幻のように実現することを信じて、「**主がこの世の王となり給うたことを感謝**」すると、告白しています。
- ⇒「**死**」という最大の苦難を思う前に、「**恵みの約束の神**」に思いを向けたいと、願います。
- ⇒ヨハネ黙示録は、「**苦難**」先にある「**神の救い**」という「**神の恵み**」を見せ、また指し示します。
- ⇒「**龍(悪魔・サタン)**」は、「**神のようになる**」目的を放棄していませんで、「**天では**」、「**彼らの(いる)場所が無くなった**」ののですが、投げ落とされた地上で、「**神礼拝者・神信仰者**」を「**訴える本務**」を放棄することはしません。



- ⇒**神は、144,000人の殉教者の訴える祈り、を聞き、「獣礼拝者・龍(悪魔・サタン)礼拝者」とその誘惑に負けた人々に「神の怒り」をもって、復讐して下さるのです。**
- ⇒**決して、神の怒りに先立ち、「獣礼拝者・龍(悪魔・サタン)礼拝者」とその誘惑に負けた人々を裁かず、むしろ、その罪・咎に気づけるように執成しをすることが求められています。**
- ⇒**多くの信仰の仲間の殉教を目にして絶望的になっている老使徒ヨハネに「今から後主にあって死ぬる死人は幸福である」、「彼らはその労苦を休息む(ことが出来る)」、「その(為した)業が彼らに随いて行く」と天から声と神の内住の御霊の声が与えられて、大きな慰めを神は与えて下さったのです。**
- ⇒**「穀物の刈り取り」、「主にある死人の勝利」は、「雲の上に人の子の再臨」のより実現します。**
- ⇒**その実現の時まで、神の聖徒に求められるのは、「神信仰と忍耐」(黙示録13:10、14:12)です。**
- ⇒**神のご計画は、時が来れば、事は行われる(237頁)のです。**

⇒14～16節では、**人の子なる神の御子**が、**死人の勝利**の刈り取りをしたのに対し、17～20節では、**第5の天使**、**第6の天使**による**葡萄の刈り集め**は、「**神の憤怒の大きな酒槽** (さかぶね)」に投げ入れるという結末が語る通り、**神の怒りの復讐**が啓示されています。

⇒茲でも、**神の聖徒に求められるのは、「神信仰と忍耐」**です。私たちに**神**が期待されるのは、①**神礼拝に忠実**であり、②**神が創造した全ての人間**が、**神のみことばである聖書**に**聴く機会**が**与えられる**ように**執成し祈る**ことです。

⇒**イザヤ63:7**をお読みします。

<新改訳第3版>

私は、【主】の恵みと、【主】の奇しいみわざを  
ほめ歌おう。

【主】が私たちに報いてくださったすべての事  
について、そのあわれみと、豊かな恵みによ  
って報いてくださったイスラエルの家への  
豊かないつくしみについて。